

製品名: CAPN6 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85975**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	74.6kDa

抗原情報

遺伝子名	CAPN6
別名	Calpain-6, Calpain-like protease X-linked, Calpamodulin, CalpM, CAPN6, CALPM, CANPX
遺伝子 ID	827.0
SwissProt ID	Q9Y6Q1
免疫原	この CAPN6 抗体は、ヒト CAPN6 の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されません。

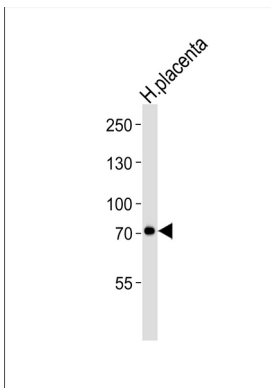
背景

微小管安定化タンパク質であり、微小管の動態および細胞骨格の組織化の制御に関与している可能性がある。ARHGEF2 との相互作用

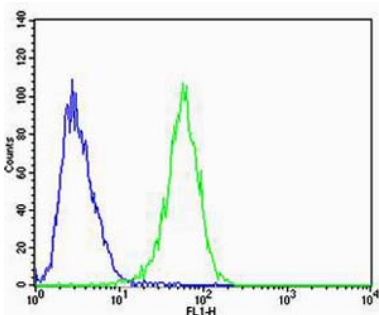
を介して RAC1 活性の調節因子として作用し、ラメリポディア形成および細胞運動を制御する可能性がある。活性部位残基を失っているため、プロテアーゼ活性は持たないと考えられる（類似性に基づく）。

研究分野

画像データ



CAPN6 抗体を用いたヒト胎盤組織ライセートのウェスタンブロット解析。CAPN6 マウスモノクローナル抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセート量は 20 μ g。



CAPN6 抗体 (緑) を用いた A549 細胞のフローサイトメトリー解析。マウス IgG1 アイソタイプコントロール (青) と比較。1:25 希釈。二次抗体として Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を使用。